

各種一覧

■分子科学フォーラム

回	開催日時	講演題目	講演者
第111回	平成29年2月3日	特別編・分子をデザインする	榎山 儀恵 (分子科学研究所 准教授) 古賀 信康 (分子科学研究所 准教授)
第112回	平成29年3月24日	生物発光が拓く生命科学と未来社会	永井 健治 (大阪大学産業科学研究所・教授)

■分子研コロキウム

回	開催日時	講演題目	講演者
第891回	平成28年9月16日	走査トンネル顕微鏡によるスピン・超伝導特性のナノスケール計測	長谷川 幸雄 (東京大学物性研究所・准教授)
第892回	平成28年10月11日	Building with Crystals of Light and Quantum Matter: From clocks to computers	Dr. Ana Maria Rey (Fellow, JILA, University of Colorado/NIST)
第893回	平成28年11月18日	超柔軟有機デバイスのウェアラブルエレクトロニクス応用	染谷 隆夫 (東京大学大学院工学系研究科・教授)
第894回	平成28年11月30日	What does a publisher do? - from submission to publication and beyond -	Dr. Hiromitsu Urakami (RSC Manager, Royal Society of Chemistry Japan)
第895回	平成28年12月16日	X-ray Crystallography and Spectroscopy of Photosystem II Using a Femtosecond X-ray Laser	Dr. Junko Yano (Senior Scientist, Lawrence Berkeley National Laboratory)
第896回	平成29年1月16日	Structure and dynamics of water molecules at the water-air and ice interfaces	Prof. Dr. Mischa Bonn (Director, Max-Planck Institute for Polymer Research (MPIP))
第897回	平成29年1月20日	特殊ペプチド創薬：基礎研究からイノベーションへ、その一例としてのペプチドリーム社	菅 裕明 (東京大学大学院理学研究科・教授)
第898回	平成29年1月23日	Probing quantum nature of interfacial water at atomic scale	Prof. Ying Jiang (Associate Professor, International Center for Quantum Materials, Peking University)

■人事異動 (平成28年6月2日～平成28年11月1日)

異動年月日	氏名	区分	異動後の所属・職名	現(旧)の所属・職名	備考
28. 6.30	江 東 林	兼 任	(北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 教授)	物質分子科学研究領域 分子機能研究部門 教授 (兼任)	
28. 7. 1	岡 本 裕 巳	併 任	研究総主幹	(光分子科学研究領域光分子科学第一研究部門 教授)	
28. 7. 1	小 杉 信 博	併 任	(光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 教授)	研究総主幹	
28. 7. 1	近 藤 未 菜 子	新 規	協奏分子システム研究センター階層分子システム解析研究部門 技術支援員		
28. 7.31	甲 田 信 一	辞 職	分子科学研究所理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 助教	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 研究員	
28. 7.31	MIRIAN, Najmeh Sadat	辞 職	※ (伊) Elettra Sincrotrone Trieste	極端紫外光研究施設光源加速器開発研究部門 研究員 (IMS フェロー)	
28. 7.31	川 口 玄 太	退 職	分子科学研究所協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 特任助教 (分子科学研究所特別研究員)	協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 研究員	
28. 7.31	鬼 武 尚 子	辞 職		技術課 事務支援員	
28. 8. 1	甲 田 信 一	新 規	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 助教	分子科学研究所理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 研究員	
28. 8. 1	青 山 正 樹	配 置	技術課付班長	技術課機器開発技術班長	
28. 8. 1	青 山 正 樹	在 籍	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所先端工作技術グループ 主任	(技術課付班長)	
28. 8. 1	川 口 玄 太	新 規	協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 特任助教 (分子科学研究所特別研究員)	分子科学研究所協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 研究員	
28. 8. 1	小 出 明 広	新 規	物質分子科学研究領域電子構造研究部門 特任研究員	日本学術振興会特別研究員 (PD)	
28. 8. 1	竹 内 高	新 規	理論・計算分子科学研究領域理論分子科学第一研究部門 特任研究員	日本大学理工学部理工学研究所 研究員	
28. 8.19	船 木 雪 乃	辞 職		協奏分子システム研究センター階層分子システム解析研究部門 技術支援員	

各種一覧

異動年月日	氏名	区分	異動後の所属・職名	現(旧)の所属・職名	備考
28. 9. 1	伊藤 卓郎	新採	規用 岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 技術支援員		
28.10. 1	後藤 麻子	併任	研究力強化戦略室 特任専門員	(総務部国際研究協力課 特任専門員)	
28.10. 1	MEISSNER, Matthias	新採	規用 光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 研究員	※(独) Jena 大学 大学院生	
28.10. 1	YAN, Shuo	職変	名更 生命・錯体分子科学研究領域錯体触媒研究部門 研究員	分子科学研究所 研究支援員 (RA)	
28.11. 1	近藤 聖彦	昇任	技術課機器開発技術班 機器開発技術二係 係長	技術課機器開発技術班 機器開発技術二係 主任	
28.11. 1	MEISSNER, Matthias	名称付与	光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 研究員 (IMS フェロー)	光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 研究員	

## 編集後記

寒風吹きすさぶ夕暮れ、あかね雲が南へゆっくりと流れて行く様子を眺めながら、この編集後記を書いています。この分子研レターズ75号が皆様のお手元に届くのは、岡崎城公園周辺がソメイヨシノに彩られ、春本番を迎えた頃でしょうか。年末年始のご多忙中にも関わらず、ご執筆をお引き受けいただいた皆様には、編集委員一同心よりお礼申し上げます。

小森機構長が巻頭言で言及されているように、本年度から第3期中期目標・計画期間が始まり、自然科学研究機構の共同利用・共同研究体制の改革が本格的に開始されています。最近の分子研レターズを読んでいると、過去二期間の運営費交付金削減に依って、特に地方大学における研究環境の悪化が顕著である様子が窺えます。そのような状況だからこそ、大学共同利用機関としての分子研への期待は、以前にも増して高まっていると感じます。本号の中でも、レターズの阿波賀先生をはじめ、分子研に対する期待や貴重なご意見、ご提言を頂戴しています。やはり分子研レターズは、分子科学コミュニティ（定義については、山本編集委員長のコラム (P.25) をご覧ください）からの“生の声”を聞くことができる貴重な媒体であることを、本号の編集作業を通じて再認識した次第です。一方で、数多くの受賞や研究会活動報告、共同研究ハイライトや大学院教育など、分子研のアクティビティーをお伝えできたのではないかと思います。今後も分子研レターズが、研究所内外の分子科学研究者間のコミュニケーション媒体となりますよう、引き続きご支援とご協力の程宜しくお願い致します。

編集担当 繁政 英治

## 分子研レターズ編集委員会よりお願い

### ■ご意見・ご感想

本誌についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、投稿記事も歓迎します。下記編集委員会あるいは各編集委員あてにお送りください。

### ■住所変更・送付希望・送付停止を希望される方

ご希望の内容について下記編集委員会あてにお知らせ下さい。

分子研レターズ編集委員会

FAX : 0564-55-7262

E-mail : letters@ims.ac.jp

<https://www.ims.ac.jp/>

## I M S Letters VOL. 75 分子研レターズ

発行日 平成29年3月（年2回発行）

発行 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構  
分子科学研究所  
分子研レターズ編集委員会  
〒444-8585  
愛知県岡崎市明大寺町西郷中38

編集 山本浩史（委員長）  
繁政英治（編集担当）  
岡本裕巳  
奥村久士  
大迫隆男  
加藤晃一  
平等拓範  
西村勝之  
古谷祐詞  
向山厚  
柳井毅  
小杉信博（史料担当）  
原田美幸（以下広報室）  
鈴木さとみ  
中村理枝

デザイン 原田美幸

印刷 株式会社コムラ

本誌記載記事の無断転載を禁じます